

現況検査により認められる状況の記録

令和5年4月14日	
NO	31
場所	B X 4 通り
部位	W 1 8
計画通りに配筋組（縦筋：D10@200mm ダブル）が行われていることを確認。 （縦筋は内側配筋、横筋は外側配筋）	
	



令和5年4月14日	
NO	32
場所	B X 4 通り
部位	W 1 8
同上。	
	



令和5年4月14日	
NO	33
場所	B X 4 通り
部位	W 1 8
B X 4 通りの型枠の設置計画状況（通り 芯）を確認。計画通りの壁厚（180mm） であることを確認。	
	



現況検査により認められる状況の記録

令和5年4月14日	
NO	34
場所	B X 4 通り
部位	W 1 8

同上。壁厚180mmに対して鉄筋かぶり厚さ30mm（内外共）が確保される状況であることを確認。



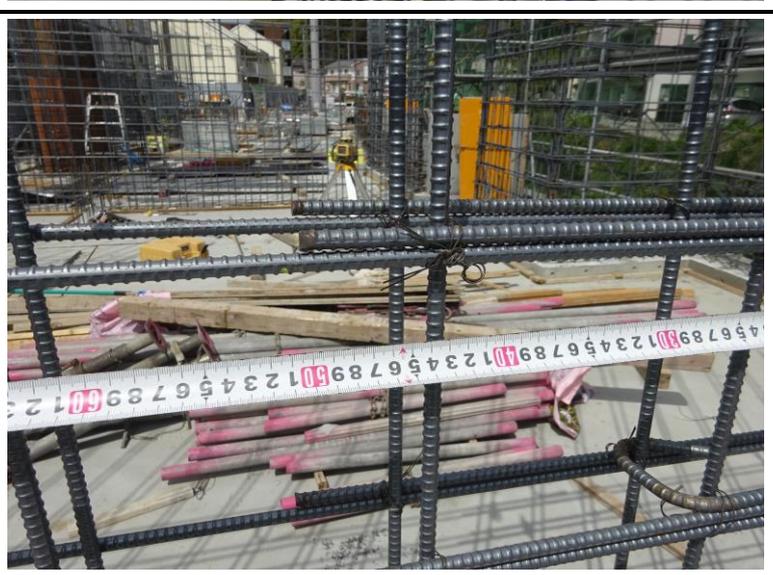

令和5年4月14日	
NO	35
場所	B X 4 通り
部位	W 1 8

スペーサーが適切に設置されていることを確認。スペーサーの出幅：かぶり厚さの最低値30mm+10mm（施工誤差を考慮した設計かぶり厚さ）




令和5年4月14日	
NO	36
場所	B X 4 通り
部位	W 1 8

重ね継手長さ（L1：D10×40=400mm以上）が十分に確保されていることを確認。

現況検査により認められる状況の記録

令和5年4月14日	
NO	37
場所	B X 4 通り
部位	W 1 8
計画通りに巾止め筋が設置されていることを確認。(D10@1,000mm)	



令和5年4月14日	
NO	38
場所	B X 4 通り
部位	W 1 8
同上。	



令和5年4月14日	
NO	39
場所	AB棟 (B棟)
部位	1階壁面 (B X 2~4 通り)
AB棟 (B棟) 1階壁面の配筋組状況。	



現況検査により認められる状況の記録

令和5年4月14日	
NO	40
場所	BY8通り
部位	W18A
計画通りに配筋組（縦筋：D13@200mm ダブル）が行われていることを確認。 （縦筋は内側配筋、横筋は外側配筋）	




令和5年4月14日	
NO	41
場所	BY8通り
部位	W18A
同上。	




令和5年4月14日	
NO	42
場所	BY8通り
部位	W18A
同上。	




現況検査により認められる状況の記録

令和5年4月14日	
NO	43
場所	BY 8 通り
部位	W 1 8 A
同上。	




令和5年4月14日	
NO	44
場所	BY 8 通り
部位	W 1 8 A
壁立上がり筋との定着長さ (L1 : D13×40 = 520mm以上) が確保されていることを確認。	

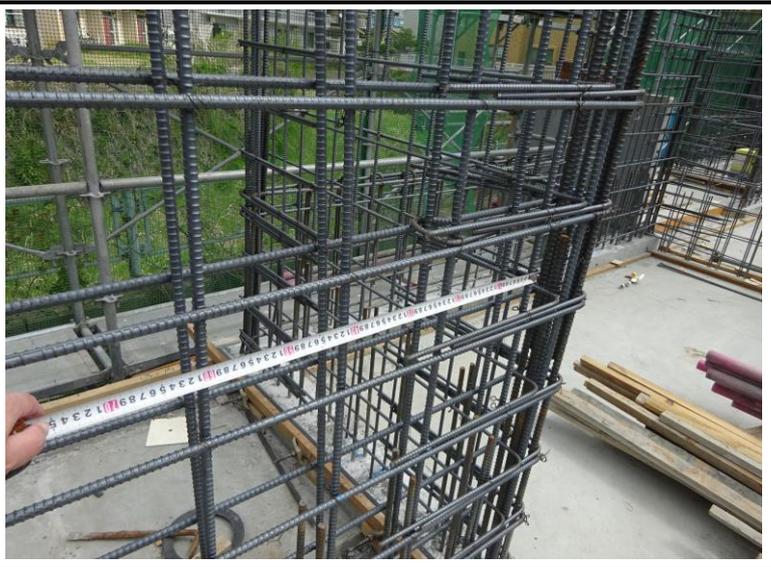



令和5年4月14日	
NO	45
場所	B X 2 通り
部位	W 1 8
B X 2 通りのL型交差部では、片側の壁端部を閉塞していない為、必要な定着長さ (端部補強筋の内側を起点とした定着長さL2 : D13×35 = 455mm以上) に不足する箇所があることを指摘。	




現況検査により認められる状況の記録

令和5年4月14日	
NO	46
場所	BY7通り
部位	W18A
計画通りに配筋組（縦筋：D13@200mm ダブル）が行われていることを確認。 （縦筋は内側配筋、横筋は外側配筋）	
	



令和5年4月14日	
NO	47
場所	BY7通り
部位	W18A
同上。	
	



令和5年4月14日	
NO	48
場所	BY7通り
部位	W18A
同上。	
	



現況検査により認められる状況の記録

令和5年4月14日	
NO	49
場所	BY 7 通り
部位	W 1 8 A
同上。	



令和5年4月14日	
NO	50
場所	BY 7 通り
部位	W 1 8 A

BY 7 通りのL型交差部では、片側の壁端部を閉塞していない為、必要な定着長さ（端部補強筋の内側を起点とした定着長さL2：D13×35=455mm以上）に不足する箇所があることを指摘。



令和5年4月14日	
NO	51
場所	BY 7 通り
部位	W 1 8 A

開口部（腰窓）廻りには、計画通りの開口補強筋（横筋：2-D16）が設置されていることを確認。



現況検査により認められる状況の記録

令和5年4月14日	
NO	52
場所	BY7通り
部位	W18A
同上。	




令和5年4月14日	
NO	53
場所	BY7通り
部位	W18A
同上。開口補強筋（横筋：2-D16）は、定着長さ（ $L1 : D16 \times 40 = 640\text{mm}$ 以上）が十分確保されていることを確認。	




令和5年4月14日	
NO	54
場所	BY7通り
部位	W18A
同上。開口部廻りには、計画通りの開口補強筋（縦筋：4-D16）が設置されていることを確認。	




現況検査により認められる状況の記録

令和5年4月14日	
NO	55
場所	BY 8 通り
部位	W 1 8 A
<p>当該箇所では、スリーブ開口部の開口補強筋の設置が不足していることを指摘。</p>	
	



令和5年4月14日	
NO	56
場所	BY 5 通り
部位	W 1 8
<p>ボックス埋設部となる開口部廻りには、開口補強筋の設置が不足していることを指摘。</p>	
	

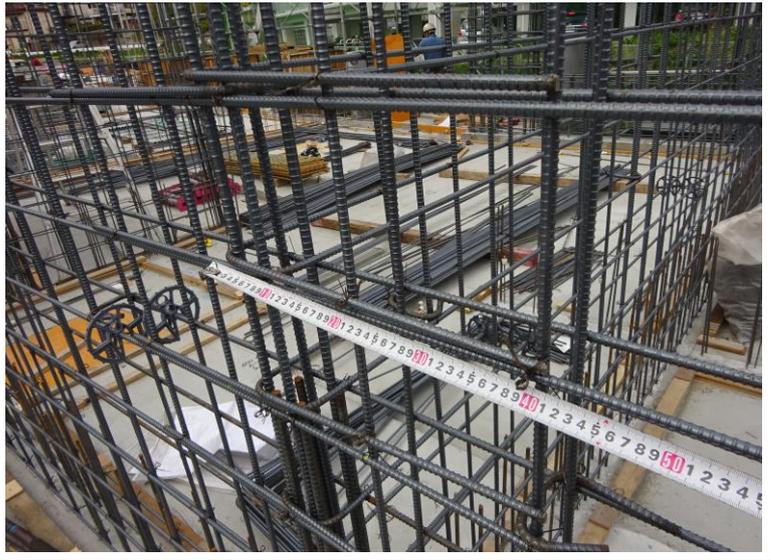


令和5年4月14日	
NO	57
場所	BY 5 通り
部位	W 1 8
<p>同上。上記の箇所に関しては、その場にて開口補強筋 (D13) の設置が行われたことを確認済。</p>	
	



現況検査により認められる状況の記録

令和5年4月14日	
NO	58
場所	B X 2 通り
部位	W 1 8
W 1 8 の T 型交差部では、直交する壁 (W 1 8) に対して計画 (施工図) 通りの定着長さ (L2 : D10×35=350mm 以上) が確保されていることを確認。	
	



令和5年4月14日	
NO	59
場所	B X 2 通り
部位	W 1 8
同上。	
	



令和5年4月14日	
NO	60
場所	AB 棟 (B 棟)
部位	1 階壁面 (B Y 1 ~ 4 通り)
AB 棟 (B 棟) 1 階壁面の配筋組状況。	
	

